

□■□みやぎ景観フォーラム2006（案）□■□

◆**テーマ**：「(仮題) みやぎの景観形成に向けて～地域の個性を生かした景観づくり～」

新・宮城県景観形成指針を策定したことを踏まえ、その策定の趣旨及び各委員の活動事例から、これからの宮城県の景観について考える。

◆**日時**：平成19年2月10日（土） 13:00～15:40

◆**場所**：みちのく古川 食の蔵 醸室（かむろ） 蔵8 2階 TERAKOYA ホール
宮城県大崎市古川七日町3-10 電話：0229-24-5501

◆**定員**：100名程度

◆**参加費**：無料

◆**プログラム**：

13:00 開会・主催者挨拶

【基調講演】

13:10 基調講演「(仮題) 地域の個性を生かした景観づくり」

平成16年に景観法が制定され、宮城県においても平成9年度に策定した宮城県景観形成指針の見直しを行った。

今後は、市町村が主体となり、積極的に景観行政団体に移行されることが望まれる。

そのような中、地域の個性を生かした景観づくりについて、国内の先進事例や望ましいあり方、その具体的な方法を話していただく。

講師：石川 幹子（いしかわ みきこ）氏：慶應義塾大学環境情報学部教授



宮城県出身。東京大学農学部卒業、ハーバード大学デザイン学部大学院卒業。東京大学大学院農学系研究科博士課程修了。農学博士、技術士（建設部門、都市および地方計画）。東京都都市計画地方審議会委員、東京都公園審議会委員など。現横浜市緑の審議会委員。全国、約200の市町村の水と緑の計画、設計に携わる。2001年日本都市計画学会論文賞。著書に『都市と緑地』（岩波書店）、『緑地環境科学』（朝倉書店）などがある。宮城県農業短期大学4年制化基本構想検討委員会委員を歴任。

13:50 休憩

【パネルディスカッション】

14:00 「(仮題) 魅力ある美しいみやぎの景観づくりに向けて」

景観法施行及び新・宮城県景観形成指針策定を契機として、宮城県のこれまでの景観づくりをふりかえるとともに、今後の宮城県の景観づくりのあり方を来場者と考える。

コーディネーター 大村 虔一 氏（みやぎ景観懇話会座長、(財)宮城県地域振興センター理事長）
パネリスト 石川 幹子 氏（慶應義塾大学環境情報学部教授）
西大立 目祥子 氏（青空編集室（フリーライター））
佐々木 愛一 氏（(株)醸室社長）

【質疑応答】

15:30

15:40 閉会
